桜咲き誇る郡山城を目指して
順慶のみち「下街道」ウォーク

今月の旅人 はにわ

2022円の旅
Travel of 2022.4

2,022円の旅ルール
その1：所持金は2,022円（交通費込み）
その2：出発は近鉄・JR奈良駅、近鉄大和八木駅のいずれか
その3：車での移動は×（ただし公共交通機関は○）

大和の戦国大名・筒井順慶。筒井氏が拠点とした筒井・郡山の城下には下街道が通る。今回は順慶の足跡をたどりながら桜の名所・郡山城へ向かう。

堀を囲むように咲く桜を360°のパノラマで見渡せる。気分はお殿様♪

📷 ⑤郡山城跡／天守台から

量川（はかりがわ）
東には順慶が治水のために築いた順慶堤も残る

光専寺
木造筒井順慶坐像を安置（見学要予約）
寺院裏には外堀が残る

菅田比賣神社
城の内堀の一部が残る！

START
近鉄奈良駅
運賃 360円 残金 1,662円
近鉄平端駅
5分

① 筒井順慶歴史公園（つついじゅんけい）

筒井順慶の墓所。覆堂（重文）の中に五輪塔や一周忌に寄進された石灯籠などが残る。奈良県内では数少ない霊廟建築の一つ。
※覆堂内部の見学は要事前予約

住 大和郡山市長安寺町
☎ 0743-53-1151（大和郡山市文化財保存活用係）
P なし

25分

② 筒井城跡（かんがいじょう）

官符衆徒・筒井氏の居館跡。城下ごと堀で囲う「総構」の城で、中世城館としては県下最大級の規模を誇る。街道沿いに残る「虎口（こぐち）」は全国的に例が少ない重要遺構だ。

下街道
郡山城下を起点に、箸尾（広陵町）、高田、御所などを通り北宇智（五條市）で中街道・伊勢街道と接続する。吉野街道とも。
※経路は諸説あり

yomiっこ編集部員が旅人になってテーマに沿った小旅行を提案します。もっと気軽に手軽に、を考えた「ふらりどこかへ行きたくなる」あの気持ちを2022円以内に収めました。封筒の中には旅のルールと2022円だけ…あなたはどう使う？

グラブ絵馬

お賽銭 22円 残金 1,640円

③ 郡山八幡神社

大和郡山市唯一の氏神社で、郡山城の守護として歴代城主からの信仰を受けた。現在は野球のサムライたちが参拝に訪れる「グラブ神社」としても有名。境内西側の土手は、増田長盛（ましたながもり）時代に築かれた御土居の名残。

住 大和郡山市柳4-25
☎ 0743-52-2746

35分

5分

金魚ストリート

老舗菊屋の菓子型と金魚

柳町商店街の約600mの通りにある呉服店や飲食店に池形や球形の水槽が並び、約30種の金魚が泳ぐ。御金魚帳（1冊500円）を持ってかわいいイラストの金魚印を集めよう！

山本陶器店の壁のペイント
お酒のホーロー看板のようなデザインのペイント。よく見たら全部金魚の品種だ！

2階建ての二軒長屋をリノベーションした複合施設

④ 町家未来基地

ここまで頑張って歩いてきたので、疲れた体に糖分補給を。tabitabiで人気のスイーツ、カヌレとchiiでほうじ茶きなこスムージーをGET！ うまい！

住 大和郡山市矢田町通1-1
P 近隣に有料Pあり

tabitabi
営 11：00〜17：00
休 月曜

smoothie & sweets chiii
営 10：00〜19：00
休 不定休

腹ごしらえ 940円 残金 700円

三の丸緑地のベンチで休憩！

カヌレ（プレーン/コーヒー）1個220円
ほうじ茶きなこスムージー500円

天守台

極楽橋
昨年3月に再建された極楽橋を渡って天守台展望施設へ

10分

⑤ 郡山城跡

天正8年（1580）の大和一国破城令を受けて順慶が新拠点とした。奈良中の大工を招集して築城を進めたのだとか。豊臣秀長の入部に伴い大規模普請が行われ、江戸前期、松平忠明の時代に形が整った。天守台展望施設からは奈良盆地の絶景が広がる。

住 大和郡山市城内町
☎ 0743-52-2010（大和郡山市観光協会）
営 7：00〜19：00（天守台展望施設）
P 近隣に有料Pあり

15分

【第61回 大和郡山お城まつり】
● 3/24（木）〜4/7（木）
夜桜ライトアップ 18：00〜20：00
※時代行列、露店、パーク&バスライド、一部イベントは中止
※期間中の宴会は禁止

入湯料 440円 残金 260円

⑥ 大門湯（おおもんゆ）

お花見も楽しめたので柳大門跡近くに建つ大門湯でひとっ風呂♨ 肩までゆっくり浸かれる深い湯船、サウナに露天風呂もあって充実の銭湯。電気風呂は電圧最強なので、少し勇気が必要。

住 大和郡山市柳5-1
☎ 0743-52-2830
営 15：30〜20：30（最終入場）
休 月曜、第2・4火曜

5分

近鉄郡山駅
運賃 260円 残金 0円 ぴったり！
GOAL
近鉄奈良駅

旅を終えて

筒井城跡から柳町商店街までの道を割愛しましたが、一本道で迷わないのでご安心を。道中、神社や地蔵などがいくつかあったのですが残念ながら詳細不明。歩いてみると疑問や発見がたくさん出てくるのが旧街道歩きの醍醐味ですね。今度はどこを歩こうかな♪

道中、生駒山系と鉄道のコラボが撮れました！